

1. 事業説明シート

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]	事業箇所	韮崎市大草町若尾	地区名	(一) 甘利山公園線 (若尾工区)	事業主体	山梨県
-----	---------------------------	------	----------	-----	-------------------	------	-----

**(1) 事業の概要**

**①課題・背景**  
 一般県道甘利山公園線は、韮崎市旭町甘利山公園を起点とし韮崎市竜岡若尾新田に至り、県立自然公園の甘利山公園へのアクセス道路であると共に、国道20号と主要地方道韮崎南アルプス中央線とを連絡する生活道路でもある。  
 当該区間は韮崎工業高校に近く、朝晩には学生が通学に利用しているが、歩道が未整備であるうえ、幅員狭小箇所や視距を確保できない箇所が存在し、通行に支障が生じていることから、早急に整備する必要がある。

**②整備目標・効果**

□主要目標 ○歩行者等の安全性の確保  
 ・歩行者・自転車交通量 70人台/12h (実測値) <93人台/12h以上※  
 ・自動車交通量 777台/12h (R3センサス) <3,428台/12h (平日) 以上※

・通学路指定 指定あり  
 ・現況の歩道幅員 0m< 1.4m未満※ ※評価基準値

□副次目標 ○市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上  
 ・道路改良率 17.7% (R5現況表) <64.0%未満※  
 ・混雑時走行速度 19.0km/h (R3センサス) <30.0km/h以下※ ※評価基準値

□副次効果 ○バリアフリー化の促進 (車椅子で通行可能な幅員の確保)

**(2) 整備内容**

**①整備内容** 道路改良 L=480m W=5.5 (10.0) m  
**②着手年度** 令和6年度 **③完成見込年度** 令和12年度  
**④総事業費** 約600百万円 (国費333百万円(5.55/10)県費267百万円(4.45/10))  
**⑤年度別の整備内容 (事業費)**

令和6年度	詳細設計	50 百万円
令和7年度	用地測量調査	50 百万円
令和8~9年度	用地取得	100 百万円
令和9~12年度	道路改良工事	400 百万円

※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

**⑥既整備内容・期間・事業費**

事業中 甘利山公園線 (若尾新田) L=430m W=5.5(9.5)m  
 期間 H26~R6  
 事業費 C=500百万円

**(3) 事業の妥当性評価** 妥当 妥当でない

**①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)**  妥当  妥当でない  
 一般通行の用に供する道路であり、極めて公共性が高い。

**②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか)**  妥当  妥当でない  
 本路線は、道路法第15条の規定により県が行うべき事業である。

**③経済妥当性**  妥当  妥当でない

総事業費	600 百万円	工期	R6 ~ R12	基準年	R5
経済効率性	費用	486 百万円	便益	1404 百万円	
	建設費	457 百万円	走行時間短縮	1047 百万円	
	維持管理費	29 百万円	走行経費減少	225 百万円	
			交通事故減少	58 百万円	
			その他※	74 百万円	
B/C			2.9		

※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益便益  
 費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。

**④事業実施・規模の妥当性**  妥当  妥当でない  
 当該区間の起点側には事業中箇所があり、事業規模は妥当である。

**⑤整備手法の有効性**  妥当  妥当でない  
 移転物件を最小限に抑えた事業計画とする。

**⑥環境負荷等への配慮**  妥当  妥当でない  
 景観に十分配慮した計画とする。

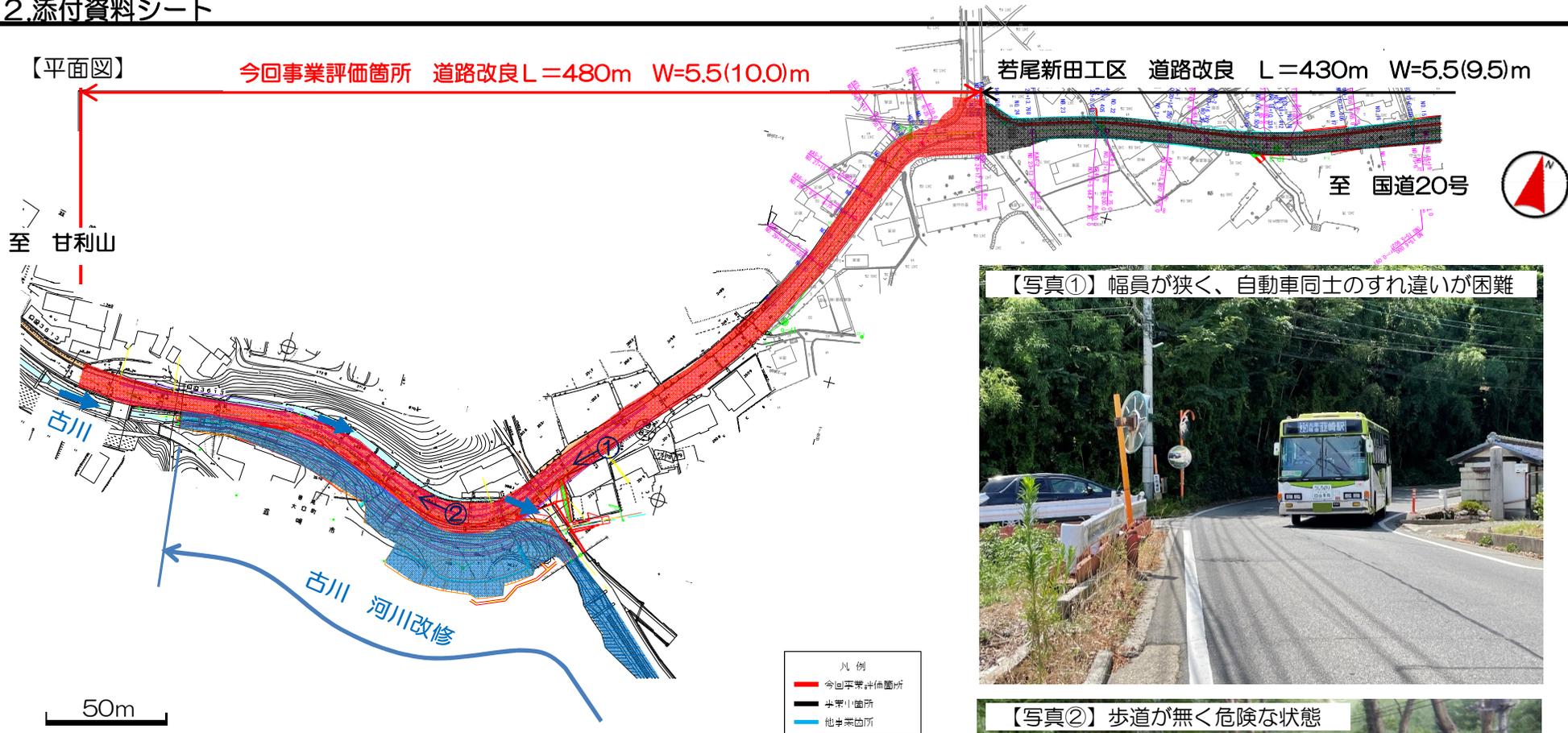
**⑦事業計画の熟度**  妥当  妥当でない  
 地元から、当該道路の改良要望を受けており、熟度は高い。

**総合評価** [貢献度ランク : a]



## 2. 添付資料シート

【平面図】



【写真①】幅員が狭く、自動車同士のすれ違いが困難



【写真②】歩道が無く危険な状態



【標準横断面図】

